

「ちかすいニュース」バックナンバー

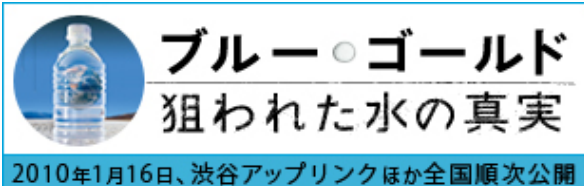
2009年

地下水ニュースは2010年1月より「地下水余話」へ生まれ変わりました。

[様々な“水戦争”の現状をドキュメントした映画](#) 情報掲載日 2009/12/27(日)

こんな映画を見つけました。「ブルー・ゴールド：狙われた水の真実」

水資源を独占しようとする企業はボトル・ウォーター・ビジネスで世界中から利益を上げる構造を作りあげ、“石油戦争”から“水戦争”の時代となってきている、といった辛辣な内容です。監督の言葉に「地球が温暖になっても人類は生き延びるだろう。地球温暖化は“どうやって”生きるかの問題だが、水危機は“生きられるかどうか”の問題なのだ。」ともあり、考えさせられてしまいますね。水資源は大切に。



執筆担当：し

[火星に地下水？](#) 情報掲載日 2009/12/16(水)

NASAの火星探査車スピリットは、火星に比較的最近まで地下水が存在した証拠を発見した。車輪が砂にはまり立ち往生し、脱出を試みている間に発見したとのこと。詳しくは関連情報をご覧ください。

執筆担当：しん

[タモリ倶楽部で東京の湧水を紹介](#) 情報掲載日 2009/12/09(水)

12/4(金)24:20～24:50（東京地区）放送のタモリ倶楽部で、東京のオアシスを求めて湧水を巡る内容が放送されました。解説に筑波大学の辻村真貴先生が登場。五島美術館、品川区南大井の水神社、大田区本光寺が紹介されました。タモリさんは東京の地形に興味を持たれており、タモリ倶楽部やブラタモリという番組で坂や川などを紹介されています。地下水・湧水に関連する時も多数あ

りますのでチェックしてみてください。

執筆担当：しん

環境省、平成20年度地下水質測定結果を公表 情報掲載日 2009/11/28(土)

環境省は2009年11月27日、平成20年度に水質汚濁防止法第15条に基づき国及び地方公共団体が実施した地下水質の調査結果を発表しました。

地域の全体的な状況を把握するために実施した「概況調査」では、対象となった全国4,290地点のうち295地点が何らかの項目で環境基準を超過しており、超過率は6.9%（前年度7.0%）でした。

項目別の環境基準超過率は、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が（4.4%）が最も高く、次いで砒素（2.4%）、ふっ素（0.7%）、鉛（0.3%）、ほう素（0.3%）の順であった。

環境省では、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染について、引き続き、各省及び地方公共団体と連携を取りつつ、地域に応じた窒素負荷低減対策の支援や対策手法の普及等を推進していくこととしている。

調査結果の詳細については、環境省のホームページをご覧ください。

執筆担当：（て）

わが町にも歴史あり・知られざる大阪：／143 天王寺七名水 情報掲載日 2009/11/24(火)

毎日JPのライフスタイル→旅行のページに、こんな記事を見つけました。大阪 天王寺の町を紹介しているページなのですが、JR天王寺駅東口の男子トイレの小便器は地下水を使用しているとのこと。1889年の駅舎建設時に、たまたま地下水脈が見つかり、地下水を利用しているようです。身近な公共施設に地下水が。利用時に意識すれば、至る所で地下水が発見できるかも知れません。[毎日新聞 2009年11月19日]

執筆担当：しん

「井戸の日2009」イベント開催されました 情報掲載日 2009/11/17(火)

地下水の魅力をPRするイベント「井戸の日2009」が11月10日、大阪市で開催されたそうです。このイベントは全国さく井協会の近畿支部が主催。11月10日は「いい井戸の日」の語呂合わせ。会場では、参加者が、大阪、京都、神戸の水道水と地下水を使ったミネラルウォーターから、おいしいと感じた水を選んでもらう「利き水チャレンジ！」も開かれた。結果はダントツで地下水（全国さく井協会の近畿支部のHP（<http://www.sakusei-kinki.jimusho.jp/>）に掲載されています）。同イベント実行委員会の森川俊英委員長は「今回は使わなかったが府内の水道水の中でも

半分は地下水を含んでいる。知らない間に井戸の水を飲んでいるということも知ってもらいたい」と話していたとのこと。[大阪日日新聞、11月11日]

執筆担当：しん

地下水サミット開催 情報掲載日 2009/10/31(土)

11月10日PM、東京グリーンパレスにおいて地下水サミットが開催されるとのこと。お申し込み等は [東川町地域活性課](#)へ。



執筆担当：しん

土壌地下水汚染のリスク評価システムが完成—無償配布 情報掲載日 2009/10/05(月)

産業技術総合研究所（産総研）は土壌・地下水汚染による環境リスクや健康リスクを時間的・空間的に評価できる地圏環境リスク評価システムの詳細モデル版「GERAS-3」が完成したと発表。企業や自治体などに向け無償で配布するという。今回のモデルは、鉱物油、揮発性有機化合物、重金属などによる複合的な土壌・地下水汚染が評価できるとのこと。産総研WEBから申し込むと無償で配布される。

執筆担当：しん

中環審が環境基準等の見直しへ第2次答申 情報掲載日 2009/09/23(水)

中央環境審議会（中環審）は「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の見直しについて」に対して9月15日に第2次答申を行ったとのこと。WHOの飲料水質ガイドライン改定及び水道水質基準改定を踏まえて、中環審が検討を行っていました。「1,2-ジクロロエチレン」、「塩化ビニルモノマー」、「1,4-ジオキサン」が基準に追加。また「1,1-ジクロロエチレン」の基準が現行の0.02mg/lから、0.1mg/lに見直されるようです。詳細は環境省のホームページ等でご確

認ください。[E I C ネット (2009/9/15) より]

執筆担当：しん

分水嶺（ぶんすいれい）の地下水を発売 情報掲載日 2009/09/13(日)

塩尻市は9月1日、「大分水嶺（ぶんすいれい）の地下水」というペットボトル入り水道水を発売したそうです。同市の善知鳥（うとう）峠は太平洋側と日本海側に分かれる分水嶺となっており、その地下水を使う上西条浄水場の水をペットボトルに詰めたものとのこと。なかなか面白いネーミングであると共に、分水嶺の地下水が詰められたペットボトルということで飲んでみたい水の一つです。[信濃毎日新聞9月2日より]

執筆担当：しん

水戸市の自然観察会で湧水探し 情報掲載日 2009/09/07(月)

水戸市環境保全会議は7月18日、市内の逆川緑地内にある笠原水源で自然観察会を開き、湧水の様子を見学しました。今回の見学会は5回目。参加者は35名だったとのこと。笠原水源は逆川沿いにある水源地。関東ローム層と砂礫層からなる台地に降った雨が地下に浸透し数十年後に湧き出すとされる。水戸藩時代に水源開発が行われ、水戸光圀が全国18番目の笠原水源を敷設したとされます。現在、記念碑などがあるとのこと。

[茨城新聞記事より]

執筆担当：しん

[「土壌・地下水浄化技術展」が9月16日よりスタート](#) 情報掲載日 2009/09/04(金)

「2009地球環境保護 土壌・地下水浄化技術展」が9月16日から3日間、東京ビッグサイト東6ホールにて開催されます。今回のテーマは「浄化ビジネス最前線 一人にやさしい環境づくりを目指して」。HPで事前登録を行うと入場料1,000円が無料になります。

執筆担当：しん

インド北部で深刻な地下水低下 情報掲載日 2009/08/19(水)

今回は日本を遠く離れたインドからのニュース。NASAの研究チームが英科学誌ネイチャー（電子版）に発表したところによると、インド北部で急激な地下水位低下が確認され、その減少量は2002～2008年のわずか6年間で琵琶湖約4個分にも及ぶという。この期間の降水は平年より多かったことから、灌漑用水に利用するための地下水の過剰揚水が主な原因だ、と同機関は指摘している。また、今後対策を講じなければ同地域の農業や1億人以上の飲料水に大打撃を与える恐れが

あると警告している。【共同通信 2009/8/13 より】

執筆担当：お

[地下水の話題がFM放送で・・・](#) 情報掲載日 2009/08/18(火)

「見えない巨大水脈 地下水の科学」(講談社ブルーバックス)の共著者の共同通信社井田徹治さんが、bayfmのザ・フrintストーンという番組(2009/8/2放送)にゲスト出演されました。番組は、「人間が普段使っている水の正体・地下水に迫る」と題して、井田さんが担当者からの地下水に関するいろいろな質問にわかりやすく回答していくQ&Aスタイルの構成で、この内容は、ザ・フrintストーンのHPに掲載されています。興味のある方は是非ご覧下さい。

執筆担当：五藤

[全国地質調査業協会連合会が地下水調査紹介小冊子を作成](#) 情報掲載日 2009/07/15(水)

この度、(社)全国地質調査業協会連合会(全地連)が「日本ってどんな国 地下水は大地からの恵み」と題する小冊子(p.18)を作成いたしました。全地連加盟会社が業務活動として、皆さんが安心・安全に暮らしていくために、地盤調査と共に地下水の性質や量を調べる地下水調査を行っていることをPRするものです。小冊子は各地区地質調査業協会から関係機関等に配布される予定とのこと。

執筆担当：五藤

[防災マップに水源井戸も記載](#) 情報掲載日 2009/06/30(火)

京都市右京区の西京極社会福祉協議会は災害時の緊急避難場所や地下水をくみ上げている井戸を記載した防災マップを作成したそうです。非常用水源として水道の復旧が遅れた場合に利用できるようにとのこと。実は私の会社がある東京都板橋区の防災マップにも井戸の位置が記載されており、こんな場所にも井戸があるのか!と驚いたことがあります。

執筆担当：の

[地下水位6.09メートルで過去最低:松山市で渇水](#) 情報掲載日 2009/06/10(水)

松山市の上水道水源は地下水とダムの水です。4月以来の少雨により地下水位が低下、ダムの水量も減少しているため、夜間断水の措置をとるそうです。松山市では渇水対策本部を設置して対応しているそうです。職員の方も市民の方も大変なご苦労だと思います。

執筆担当：の

[地滑りの原因の地下水を抜く工事開始](#) 情報掲載日 2009/05/28(木)

以前から問題となっていた山形県鶴岡市大網の七五三掛（しめかけ）地区で起こっている大規模な地滑りの問題で、県は28日、地滑りの原因とされる地下水を抜く緊急対策工事を開始したそうです。

北海道での陥没とか、今回の問題とか、地下水には強大な自然の力という一面もありますね。

[2009/5/28 山形新聞]

執筆担当：し

松本：わき水巡りツアー（長野県） 情報掲載日 2009/05/25(月)

長野県松本市にある井戸や水路をめぐる「みずみずしい日常めぐり」が今月31日までの毎週土・日曜日に開かれています。松本市一帯は古くから豊富な地下水を利用するための井戸や水路が整備されており、人々の生活に密接に関わっていたそうです。しかし、近年では道路整備等により水場が減少しわき水に対する関心も失われつつあることから、このツアーを企画。5月9日（土）のツアーでは、ボランティアの市民らでつくるガイド隊「みずめぐり姫」の案内を受けながらわき水スポット23箇所を約1時間かけて巡りました。今週末5月30,31日が最後のチャンスなので、是非参加してみてください。また偶然にも当委員会が主催する『座間湧水ツアー(神奈川県)』も5月31日(日)に開催されます。関東ではここ数日とわき水にとっては恵みの雨が降っているので、今週末のツアーが楽しみです。【中日新聞 2009/5/12 より】

執筆担当：お

地下でもヒートアイランド現象！ 情報掲載日 2009/05/22(金)

だんだん暑くなってきましたね。去年の猛暑を思い出してうんざりしていますが、ヒートアイランドの影響か地下深くの地下水の水温も上昇傾向があるそうです。産業総合研究所と秋田大学などの調査結果だそうです。

執筆担当：の

[「見えない巨大水脈 地下水の科学」出版](#) 情報掲載日 2009/05/22(金)

講談社ブルーバックスの5月新刊として地下水の科学が出版されました。この委員会と井田徹治さんの共著です。なるべくわかりやすく地下にある貴重な資源「地下水」について書いたつもりです。ぜひ読んで下さいね。

執筆担当：の

小平市、地下水くみ上げ販売 情報掲載日 2009/05/14(木)

東京都小平市は、市内の深井戸からくみあげた地下水を使ったミネラルウォーターのペットボトル販売を企画。市役所や市立体育館などで販売するほか、ウォークラリーなどのイベントでも配布予定。環境を重視する市の街づくり姿勢をPR【5/14 日本経済新聞】身近なおいしい水資源、地下水のPRにもなれば喜ばしいですね。

執筆担当：ま

[落合川と南沢湧水群のパンフレットを作成](#) 情報掲載日 2009/04/24(金)

東久留米市では落合川と南沢湧水群が「平成の名水百選」に選定されたことを記念して、「パンフレット」と「散策用ガイドマップ」を発行したそうです。私たちが落合川と南沢湧水の見学会を2006年に実施しましたが、水が豊富ですばらしい湧水でした。パンフレットとガイドマップは市役所総合案内書などで無料配布するほか、市のHPでもご覧になれます。(2009/4/10東久留米市HP)

執筆担当：の

[DVD「座間の宝 湧水の秘密」貸出\(座間市\)](#) 情報掲載日 2009/03/15(日)

5月末にとりきち委員会で湧水ツアーを企画中の座間市で、DVD「座間の宝 湧水の秘密」の貸し出しを開始しています。市内の湧水ポイントを紹介するとともに、地下水・湧水のしくみをアニメーションでわかりやすく解説したDVDのようです。併せて、DVDの解説集も配布(ダウンロード可)。詳しくはHPで。[2009/03/15 座間市HP]

執筆担当：し

[白川氷柱群あらわる](#) 情報掲載日 2009/01/24(土)

長野県木曾町三岳の西野川の岸壁に、わき出た地下水が凍ってできる「白川氷柱群」が現れたようです。高さ約50メートルの氷柱が幅約200メートルにわたって連なるもので、この自然の神秘を撮ろうと多くのカメラマンも訪れているとのこと。今月下旬から2月中旬には、午後6～10時にライトアップされるそうで。[2009/1/15 毎日新聞]

執筆担当：し

[地下水の現状を学ぶ\(福島県喜多方市\)](#) 情報掲載日 2009/01/12(月)

福島県喜多方市の【きたかた清水ネットワーク(会長・唐橋幸市郎会津喜多方商工会議所会頭)】が主催する『「冬水田んぼ」による地下水涵養実験』の見学会が12月20日行われた。旧喜多方市内には昔は多くの清水が確認されていたが、現在はほ場整備や道路の融雪作業などに地下水を利用

しているため、地下水位が低下しているのが現状だ。見学会では福島大共生システム理工学類の柴崎直明教授を講師として迎え、その現状の説明や実際に水位が低下している同町の勘福清水を見て回るなどして理解を深めた。また水田に水を張って地下浸透させ、水質の良い地下水を手こぎポンプを使って人工的に増やす実験の見学も行われた。「地下水」という普段なかなか目で見ることができない未知の世界について、その一部でも体験できるこういったイベントは今後もっと増えてほしいですね。【福島民友トピックス 2008/12/23】

執筆担当：小澤

神奈川県民フォーラムで水源環境を守る施策 情報掲載日 2009/01/12(月)

神奈川県では、平成19年度から「水源環境保全・再生実行5か年計画」に取り組んでおり、その一環として平成20年度から水源環境の保全・再生に取り組む県民活動を支援する「水源環境保全・再生市民事業支援補助金」制度を始めているそうです。21年度の補助事業募集は1月30日まで。20年度は総額900万円を20団体36事業に支援したそうです。なお全国の自治体やNPO、研究者、県民が参加する県民フォーラムが2月11日11時から社のホールはしもと（橋本駅北口徒歩1分）にて開催されます。是非参加してみてもはいかがでしょうか？お問合せは、土地水資源対策課まで。（神奈川県 県のたより平成21年1月号から）

執筆担当：しん

初の国際地下水条約 情報掲載日 2009/01/06(火)

複数の国にまたがって存在する地下水をめぐる紛争を未然に防ぎ、その保全と持続的な利用を目指す目的で、国連の委員会は初の「国際地下水条約（仮称）」の原案をまとめたそうです。（共同通信）

日本は島国なので、地下水に関して他国と問題は生じませんが、ヨーロッパ・中東などでは各国の協力が必要なようです。今後も動向を注目したいと思います。（の）

執筆担当：深田

「くまもと水守（みずもり）」制度開始 情報掲載日 2009/01/02(金)

熊本市が、市民の水源となる地下水の保全や、水を生かした活動に取り組む人材を幅広く登録し、ネットワーク化を図る「くまもと水守（みずもり）」制度を来年3月からスタートさせるそうです。現在、第1次の登録者を募集しています（講習会を受講する必要があります）。市へ活動内容などの情報提供が必要ですが、「水守」の呼称の利用（登録証やグッズ）、情報交換など様々なメリットもあります。この制度の面白いところは、種類は非常にバラエティーに富んでいることであると

思います。例えば、熊本水遺産の湧水地の世話人→湧水（水遺産水守、地下水をかん養する農家→地下水かん養水守、地下水都市熊本をPRする人→宣伝水守、水の名所案内ができるタクシー運転手→ガイド水守、などと名乗ることができるようです。[2009/1/2 熊本市市政だより2009年1月号（PDF版）]

執筆担当：し
